

1 単元名 ソフトバレーボール

2 運動の特性

(1) 一般的特性

ソフトバレーボールは、2つのチームがネットを挟んで、自陣にきたボールを拾い上げて相手コートにボールを打ち返したり、落としたりして得点を競うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 (男子14名 女子18名 計32名)

A 運動の楽しさの体験状況

①体育の学習は好きですか。

とても好き	好き	嫌い	とても嫌い
14名	16名	2名	0名
<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすのが好きだから 15名 ・楽しいから 7名 ・いろいろな道具を使ってやるから 3名 ・体力がつくから 2名 ・みんなで協力してやるから 2名 ・体を動かすと気持ちがいいから 1名 		<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすのが好きではないから 1名 ・苦手だから 1名 	

②ボール運動 (ボールを使った運動) は好きですか。

とても好き	好き	嫌い	とても嫌い
16名	13名	1名	1名
<ul style="list-style-type: none"> ・ボールでいろいろな動きをするから 15名 ・楽しいから 10名 ・野球を習っているから 2名 ・投げたり蹴ったりすると気持ちがいいから 1名 ・いつもボール遊びをしているから 1名 		<ul style="list-style-type: none"> ・苦手だから 2名 	

③今までのボール運動で楽しかったとき・楽しくなかったときはどのようなときですか。(複数可)

楽しかったとき	楽しくなかったとき
<ul style="list-style-type: none"> ・上手にできたとき 18名 ・みんなで協力できたとき 3名 ・点を決めたとき 2名 ・ボールを投げたとき 1名 ・シュートしたとき 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくできなかったとき 6名 ・ボールが回ってこないとき 4名 ・みんなで協力していないとき 3名 ・ボールをもっていないとき 1名 ・ボールがさわれなかったとき 1名

・パスをもらったとき	1名	・待っているとき	1名
・目標が達成できたとき	1名	・試合がないとき	1名
・勝ったとき	1名	・無理やりやらされたとき	1名
・練習しているとき	1名	・負けたとき	1名
・活躍できたとき	1名	・相手が雑にやっているとき	1名

④バレーボールを知っていますか。(どんなスポーツか。ルールなど)

よく知っている	知っている	知らない	全く知らない
3名	12名	13名	4名

⑤バレーボールをやったことがありますか。

ある	ない
14名	18名

⑥ソフトバレーボールをやりたいですか。

とてもやりたい	やりたい	やりたくない	全くやりたくない
9名	16名	6名	1名
・楽しそうだから	11名	・ルールややり方がわからないから	4名
・あまりやったことがないから	5名	・ボールがあたると痛いから	1名
・様々な動きができるようになりたいから	3名	・難しそうだから	1名
・ボール運動が好きだから	1名	・体育やボール運動が嫌いだから	1名
・お父さんがやっていたから	1名		

⑦ソフトバレーボールの学習で、何ができるようになりたいですか。また、心配なことはありますか。

できるようになりたいこと		心配なこと	
・アタック	8名	・レシーブ	7名
・パス	6名	・トス	4名
・サーブ	3名	・技	2名
・高いジャンプ	1名		
・協力してやる	1名		
		・上手にできるかどうか	8名
		・けがをしないかどうか	4名
		・ルールややり方がわからないこと	3名
		・協力してできるかどうか	1名
		・今後役に立つかどうか	1名

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

①自分に合っためあてをもって、学習を進めることができますか。

自分でめあてをもてる	アドバイスをもらえばできる	めあてをもつ自信がない
15名	13名	4名

②練習の仕方がわからないときや技がうまくできないときはどうしますか。(複数回答可)

友達に聞く	先生に聞く	練習する	資料を見る
20名	12名	15名	5名

③協力して教え合いや励まし合いができますか。

誰とでもできる	仲のよい友達とならできる	自信がない
16名	14名	1名

④学習を進める上で大切なことはどのようなことだと思いますか。(自由記述)

・みんなで協力すること	20名	・めあてを決めること	2名
・励まし合い、教え合いをすること	7名	・楽しくやること	2名
・しっかりと話を聞くこと	3名	・自分の考えを説明すること	1名
・最後まであきらめないこと	3名		

⑤今回のソフトバレーボールをどのような学習にしていきたいですか。(自由記述)

・楽しく学習したい	15名	・うまくできたときやできなかったときの理由がわかるようにしたい	1名
・みんなで協力してやりたい	15名	・最後まで頑張りたい	1名
・上手にできるようになりたい	6名		

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況

		1			2			3		
		連続レシーブ 連続何回アンダーハンドパスができるか			連続トス 連続何回オーバートスができるか			連続対面レシーブ 連続何回ワンバウンドレシーブができるか		
ボールの種類		ゴム	ビニール 100g	ビニール 50g	ゴム	ビニール 100g	ビニール 50g	ゴム	ビニール 100g	ビニール 50g
1	女	5	6	9	5	6	8	16	3	10
2	女	4	16	11	4	17	6	9	12	20
3	男	6	17	29	5	2	12	7	20	38
4	男	15	18	17	9	15	14	30	38	54
5	女	3	3	4	2	4	7	17	13	7
6	男	7	3	7	5	5	6	5	7	21

7	男	1 2	2 4	3 5	1 5	8	2 7	3 0	3 7	5 4
8	女	3	1 2	1 3	4	1 5	1 5	1 7	1 8	2 0
9	女	1 1	7	1 5	5	4	7	6	4	2 0
10	女	3	1 0	1 0	4	9	7	1 0	5	7
11	男	7	1 4	2 3	5	1 4	1 5	1 3	1 0	1 8
12	男	8	9	1 1	6	9	1 0	6	4	3 6
13	男	5	1 2	2 4	8	9	2 6	1 3	1 0	1 8
14	男	8	1 1	1 6	8	9	1 2	3 1	2 4	3 6
15	女	5	1 0	5	6	1 6	1 0	3	6	5
16	女	2	3	5	3	3	7	3	4	6
17	男	2	2	3	2	2	4	3 1	2 0	2 8
18	女	2	4	5	3	4	5	2	7	1 0
19	男	9	4	1 3	4	7	1 8	1 4	2 2	3 6
20	女	2	6	3	3	1 5	3	3	6	5
21	女	5	7	6	4	8	9	2	5	7
22	男	5	1 1	1 2	6	1 4	1 6	6	4	2 1
23	男	1 0	8	2 9	1 6	8	1 5	1 4	2 4	2 8
24	男	3	3	1 1	5	8	9	7	3 7	4 0
25	女	4	3	4	4	6	7	9	1 3	5
26	女	4	3	8	4	6	6	1 6	3	1 0
27	男	2	4	5	2	6	6	3	7	5
28	女	5	6	7	4	7	1 0	3	5	5
29	女	4	8	1 2	7	1 5	3	1 0	4	5
30	女	7	7	5	7	9	1 0	6	7	2 0
31	女	3	3	8	4	4	4	3	1	5
32	女	2	3	3	1	3	5	3	1	5

[考察]

A 運動の楽しさの体験状況について

本学級の子どもたちの多くは、体育学習が好きである。体を動かすことの楽しさやできるようになる喜びを実感できていることが考えられる。嫌いと答えた子は2名おり、運動全般に対する苦手意識をもっていることがわかる。

ボール運動に関しても、好きと答えている子が多い。特にドッジボールが好きの子が多く、これは校内で行われているドッジボール大会に向けてクラス全体で取り組んだり、休み時間もグラウンドの関係でボールを使った遊びがドッジボール程度しかできなかつたりすることが考えられる。楽しさを感じる場面は大きく分けて「協力してできたとき」と、「技能が向上したとき」の2つに集中している。また、楽しくないと感じる場面は、「協力できないとき」「ボールがこないとき」「うまくできないとき」の3つが多く

なっている。ただし、ボールゲームの学習経験が少なく、ボール運動の楽しみ方を知らない子が多いことが考えられる。

ソフトバレーボールに関しては、「やりたい」と答えた子が多く、楽しそうだと感じていることから、前向きに取り組もうとしている気持ちが伺える。一方では、ソフトバレーボールの経験がなく、やったことはあっても詳しいルールややり方を知らない子も多い。そのことを不安に感じ、「上手にできるかどうか」を心配している子もいる。また、できるようになりたいことでは、ボールをうつことが最も多いが、ボールをつなぐことに目が向いている子も多くいる。以上のように、子どもたちはボール運動の学習が少なく、楽しみ方を十分に知らない。また、技能面への期待と不安を併せ持っていると考えられる。

そこで本単元では、「ボールをつなぐこと」「ボールをうつこと」の技能を高めるとともに、「ボールに全員がふれること」や「チームで協力すること」ができるような手だてを取ることで、運動の楽しさをさらに味わうことができるようにしたい。

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

本学級の子どもたちは、体育学習において自分が取り組んでいくめあてを考えたり、それをもとに学習を進めたりする経験は豊富ではない。また、ソフトバレーボールの経験が浅いため、「自分でめあてをもてる」と答えた子も、自分に合っためあてをもつことは難しいと考えられる。さらに、「アドバイスをもらえばできる」という子も多いので、チームの中で友達と話し合い、全体のめあてを考え、そこから自分のめあてを考えていくような手順を踏んでいきたい。また、資料を見て問題解決していく子が少ないため、資料を有効に活用できるようにしたり、友達と教え合ったりする活動もしていきたい。

学習を進める上で大切なことについての質問では、「協力」という意見が最も多かった。しかし、現実では「仲のよい友達とならできる」という子が多くいる。

そこで、本単元では、チームのみんなで協力して励まし合いや、話し合いがしやすいような手だてを講じ、多くの子どもたちの願いである、「みんなで協力し、楽しく学習する」ということができるようにしていきたい。

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

本学級の実態として、バレーボール自体の経験が少ない子どもたちで、これまでに経験してきた「投げる」「蹴る」の操作とは違い、今回は「はじく」「打つ」操作なので、技能の習得状況は低い。特に、アンダーレシーブやオーバートスは、できない子は連続で数回、できても10回程度である。また、飛んできたボールに手を当てたり、弾き返したりすることはできたが、ねらった方向にボールを返すことはできない子がほとんどであった。さらに、ボールが来ると力いっぱいはいたり、体を移動せずにその場でボールを打ったりしようとする子も多くいた。ボールの種類では、ゴム製よりもビニール製のボールの方が操作しやすいとの声が多かった。

これらの実態から、「ボールの落下地点に入ること」や、「体の正面でボールを扱うこと」があまりできていないように思われる。そこで、単元を通して技能の向上を図る時間を取る。また、この実態ではなかなかバレーボールの運動の特性や楽しさを味わうのは難しいと思われるので、まずはルールや友達とのかわりに慣れる段階として、やさしいルールで行い、今後につながる学習をしていきたい。

3 視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で子どもたちが学習意欲や目標をもって取り組めるよう道すじを工夫する。

<手だて>

○ 「うまくなりタイム」におけるボールに慣れる経験の増加

本学級では、子どもたちがボールを「打つ」「はじく」といった経験が少なく、ソフトバレーボールの楽しさを感じていない子が多い。ソフトバレーボールで、まず必要になってくる動きが「ボールの落下地点に入る動き」であると考え。そこで、単元を通して「うまくなりタイム」を設定し、2人組やチームでボールにたくさん触れながら、「打つ」「はじく」ことを繰り返すことで、ボールに慣れる感覚をつかむことができるようにする。

【うまくなりタイムの内容】

内容	行い方	ポイント
対面レシーブ (正面)	1人がとりやすいボールを下から投げ、それをアンダーレシーブして返す。投げた子はそのボールをキャッチする。	肘を伸ばす。 うでをふり過ぎない。 ボールの正面に入って返す。 返しやすいところに投げる。
対面レシーブ (左右)	1人が左右にボールを下から投げ、それをアンダーレシーブして返す。投げた子はそのボールをキャッチする。	肘を伸ばす。 ボールの正面に入って返す。 ふわっとしたボールを投げる。
アタック NO1	ネット越しにボールを下から投げ、それを両手または片手で打ち返す。待っている子が手のどの部分にあっているかや、落ちたところを見て声をかける。	掌にしっかりあてる。 最初は両手でやり、できるようになったら片手もやってみる。
ラリーゲーム	味方同士でボールを落とさないようにレシーブやトス、やさしく打ち返したりしてボールをつなぐ。	相手の取りやすいところに返したりパスをしたりする。

○ 道すじの工夫

本学級では、多くの子どもたちがソフトバレーボールに関しての経験が浅く、どのように動けばいいかわからないと感じている。そこで、ねらい④では、ゲームを通してソフトバレーボールの経験を積ませるためにやさしいルールで総当たり戦を行い、ゲームの経験をさせる。いろいろなチームとゲームを楽しみ、それぞれの役割をローテーションしていく中で、ソフトバレーボールの楽しみ方を身に付けていくようにする。ルールに慣れ自分のチームの特徴を知る

段階である。

ねらい①を踏まえて、ねらい②では、基本的な動きやルールを理解した上で「どうすればより勝てるか」を考えるために、作戦を立てる時間をとりながらゲームを行う。守り方や攻め方をチームで話し合いながら決められるようにしていく。また、前後半の間で振り返りを行い、よりよい攻め方や守り方を考えてゲームができるようにする。

また、ボールをレシーブしてからスパイクするまでの一人一人の動きを、ボードを使って矢印などでかき、自分たちの動きをイメージしていくことができるようにする。

視点2 一人一人のよさを伸ばす学習を進めるための手だてを工夫する。

<手だて>

○ ルールの工夫

本單元では、一人一人がボールに触れ、全員で楽しむためにルールを工夫するようにしたい。バレーボールの経験がない子が多数いるため、基本となるルールは始めにおさえておくようにする。

<単元を通して統一するルール>

- ・ 1 チーム 4 人（コートには 3 人が入る）、セルフジャッジ
- ・ 点が入ったら両チームともローテーションする
- ・ 1 人が連続してボールに触れない
⇒ボールに触れる機会を増やすため。1 人がコートの外でプレーを見てアドバイスしたり励ましたりできるようにするため。
- ・ ネットはさわらない ⇒安全面の確保のため。
- ・ サーブは下から両手で投げ入れるか、片手で取りやすいボールを打つ。1 回ずつ交互にやる。
⇒サーブで得点が決まらないようにするため。
- ・ 1 回だけキャッチしてもよい、1 回返しなし
⇒スパイクを打たせたい。トスアップがよければ打ちやすいため。
- ・ ネットのの高さは 2 0 0 c m、コートの広さは 5 m × 1 0 m とする

<子どもの様相に応じて変容していくルール>

【ねらい①のルール】

- ・ ビニール製のボール（5 0 g）を使用する
⇒ボールの下に入りやすいようにするため。痛さを緩和させるため。
- ・ 1 試合 1 0 分（ねらい①） ⇒十分に楽しむため。

【ねらい②のルール】

- ・ ビニール製のボール 5 0 g か 1 0 0 g を使用する。
⇒子どもたちにどちらがよいか選ばせるため。
- ・ 1 試合 前半 5 分 振り返り 2 分 後半 5 分
⇒振り返りをして、攻め方や守り方を考えるため。
- ・ キャッチした場所からトスを上げるようにする。

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- ◎やさしいルールでゲームをしたり、攻め方や守り方を工夫してゲームをしたりして楽しむ。
- ルールやマナーを守って、進んで練習やゲームに取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- 自分やチームに合っためあてをもち、攻め方や守り方を考えることができる。(思考・判断)
- ボールの落下地点に入り込んでパスをしたり、ボールを相手コートに打ち返したりすることができる。(技能)

(2) 学習の道すじ (本時 7 / 8)

	1	2	3	4	5	6	⑦	8
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	うまくなりタイム			うまくなりタイム			
		ねらい① やさしいルールでソフトバレーボールを楽しむ。 (総当たり戦)	ねらい② 攻め方や守り方を工夫してゲームを楽しむ。(総当たり戦)				まとめ	
重点評価観点	関	○		○	○			○
	思		○			○	○	
	技			○	○		○	○

5 評価規準 (おおむね満足できる状況)

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ○ソフトバレーボールの楽しさを味わうために進んで取り組みようとしている。 ○ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ○友達と協力して準備や片付けをしようとしている。 ○運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームの行い方を知るとともに、自分やチームに合っためあてを立てている。 ○自分のチームの特徴に合った攻め方や守り方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボールの落下地点に入り込み、ねらった方向にパスをすることができる。 ○相手コートにボールを打ち返すことができる。

6 学習活動と指導（本時 7 / 8）

はじめ	<p>1 オリエンテーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや道すじを理解し、学習の進め方に見通しをもつ。 ○学習資料の活用方法や学習カードの記入の仕方について理解する。 ○用具の準備や片付け、場の安全について理解する。 <p>2 試しのゲームをする。</p>	
	学習内容と活動	教師の指導・評価（◇評価）
なか ①	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元に関する動きを取り入れる。 <p>2 うまくなりタイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○50gと100gのボールを用意し、好きな方を選んでやる ・対面レシーブ （直線的動き・横に振る） ・アタック NO1 （相手に打ち返す） <p>3 本時のねらいと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○手首、足首、肩などよく使う部分を中心に、伸ばしている部分を意識しながら行うように声をかける。</p> <p>◇友達と協力して準備や片付けをしようとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○一つ一つの動きのポイントを確認しながら進めていく。</p> <p>○ペアやチームの友達同士でアドバイスし合えるように声をかける。</p> <p>○50gと100gのボールを試し、違いを感じられるように声をかける。</p> <p>◇ソフトバレーボールの楽しさを味わうために進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>○ルールやマナーについて確認する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ねらい① やさしいルールでソフトバレーボールを楽しむ。 </div>	
	<p>4 チームの友達とめあてを確認し合う。</p> <p><予想されるめあての例></p> <p>Aさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スパイクでボールを返すために、ボールの中心をうつようにする。 <p>Bさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんボールをさわって、ボールをつなぐ。 	<p>○学習カードをもとにして、今日のめあてを確認させ、グループの友達とお互いにアドバイスし合えるように声をかける。</p> <p>◇ゲームの行い方を知るとともに、自分やチームに合っためあてを立てている。【思考・判断】</p>

<p>な か ①</p>	<p>5 第1ゲームを行う。 <はじめのルール> ・1チーム4人（3人ずつコートに入る） ・1試合10分 ・セルフジャッジ ・サーブは下から両手で投げるか、アンダーハンドでやさしいボールを打つ ・1回返しはなし ・1得点ごとに両チームローテーション ・ネットに触れない</p> <p>6 第2のゲームを行う。 （4／8時では第3のゲームまで行う。）</p> <p>7 チームごとにゲームの振り返りをし、全体で学習のまとめをする。 ○自分のめあて、チームのめあては達成できたか ○よかった点、改善点は何か ○友達のよいところや真似したい動きが見付けられたか</p> <p>8 整理運動をする。</p> <p>9 後片付けをする。</p>	<p>○積極的に励ましの声やアドバイスなどをして盛り上がっているチームを称賛する。 ○足を動かしてボールの落下地点に入るように声をかける。 ◇ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>○ゲームを振り返り、自分や友達のよかったところや改善点を進んで話し合うように声をかける。</p> <p>○よかった点やうまくいかなかった点に目を向けて話し合いができるように助言する。 ○めあてが達成したチームを紹介し、みんなの前で称賛する。 ○よい動きができた友達を紹介し、みんなの前で称賛する。</p> <p>○痛いところはないか確認しながら、使った筋肉を意識してほぐすように声をかける。 ○安全面に気を付けながら、協力して素早く行うように声をかける。</p>
----------------------	--	--

	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <p>2 うまくなりタイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面レシーブ ・アタック NO.1 ・ラリーゲーム <p>3 本時のねらいと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○手首、足首、肩などよく使う部分を中心に、伸ばしている部分を意識しながら行うように声をかける。</p> <p>◇友達と協力して準備や片付けをしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p> <p>○相手の取りやすいところにねらってパスをしたり、打ち返したりするように声をかける。</p> <p>○チームで声をかけ合いながら指示や動きの確認をするように促す。</p> <p>○みんなで声を出し、盛り上がりながら行っているチームを称賛する。</p> <p>○より勝つためには、点を多く入れるためにはどうしていけばいいかを考えさせる。</p>
<p>ねらい② 攻め方や守り方を工夫してゲームを楽しむ。</p>		
<p>な か ②</p>	<p>4 チームのめあてを確認し、攻め方や守り方を考える。</p> <p><予想される攻め方の例></p> <p>A チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の取りにくいところは、人と人の間だから、そこをねらって打つようにしましょう。 <p>B チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールをレシーブしたら、僕は左に君は右に動いてどちらからも攻撃できるようにしよう。 <div data-bbox="485 1435 676 1626" style="text-align: center;"> </div> <p><予想される守り方の例></p> <p>C チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕はレシーブが得意だから、後ろに守るよ。 <p>D チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちはレシーブが得意だから、2人が後ろに守って、確実に前に返そう。 	<p>○試合を行う際の守り方や攻め方を確認する。自分たちのチームに合っているかどうか確かめながら行うように声をかける。</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○ホワイトボードやチームカードに書き込みながら、考えを出していくように促す。</p> <p>○なかなか攻め方が思い浮かばないチームには、一人一人の動き方を考えていくようにアドバイスをする。</p> <p>◇自分のチームの特徴に合った攻め方や守り方を考えている。 【思考・判断】</p>

<p>な か ②</p>	<p>5 第1ゲームを行う。 (5分 - 2分 - 5分) ○チームのめあてを達成できるように取り組む。 ○前後半の間に、攻め方と守り方の確認をする。</p> <p>6 第1ゲームを振り返り、攻め方や守り方の修正や動きの確認をする。</p> <p>7 第2ゲームを行う。</p> <p>8 チームごとにゲームの反省をし、全体で学習のまとめをする。 ○めあては達成できたか ○よかった点、改善点は何か ○友達のよいところや真似したい動きが見付けられたか</p> <p>9 整理運動をする。</p> <p>10 後片付けをする。</p>	<p>○よい動きをしているチームや子どもを称賛する。 ○誰に返すかを意識するように声をかける。 ◇ソフトバレーボールの楽しさを味わうために進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】 ◇ボールの落下地点に入り込み、ねらった方向にパスをすることができる。【技能】</p> <p>○よかった点やうまくいかなかった点に目を向けた話し合いができるように声をかける。 ○話し合いが思うように進まないチームには、このままの作戦でよいかどうか、次はどのように攻めていくかを考えるように声をかける。 ◇自分のチームの特徴に合った攻め方や守り方を考えている。【思考・判断】</p> <p>○自分たちの考えた攻め方や守り方ができるようにアドバイスをする。 ◇相手コートにボールを打ち返すことができる。【技能】</p> <p>○よかった点やうまくいかなかった点に向けて話し合いができるように助言する。 ○めあてが達成したチームを紹介し、みんなの前で称賛する。 ○作戦が成功したチームを紹介し、称賛する。</p> <p>○痛いところはないか確認しながら、使った筋肉を意識してほぐすように声をかける。 ○安全面に気をつけながら、協力して素早く行うように声をかける。</p>
<p>ま と め</p>	<p>学習のまとめをする。 ○ルールやマナーを守って、進んで練習やゲームに取り組むことができたか。 ○自分やチームに合っためあてをもち、攻め方や守り方を考えることができたか。 ○ボールの落下地点に入り込んでパスをしたり、ボールを相手コートに打ち返したりすることができたか。</p>	